

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 IN THE KIDS		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 15 日		～ 令和 8 年 1 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 15 日		～ 令和 8 年 1 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心感をもち、楽しみながら通所している。	児童一人ひとりの心身の発達や特性に沿った支援を実践できるようにスタッフミーティングや研修を定期的に行っている。	スタッフミーティングは毎日、研修は月一回以上の実施を目指したい。
2	統一された支援を実施できている。	全スタッフがガイドラインや個別支援計画、アセスメント、モニタリングに何度も目を通すように努めている。	基本的なことなので、漏れがないように徹底していく。
3	十分な人員体制と環境整備に心掛け、維持することができている。	人員体制は比較的手厚いと思われる。児童への支援に限らずスタッフ各々が空き時間を活用して事業所内外の清掃、草むしり、ゴミ拾い等を意識的に行っている。	役割分担をローテーション化するなど、情性的にならないようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。	仕事をしている保護者や外国にルーツのある保護者が増加している。保護者の交流を見据えたプログラムをどのように展開していくか検討が必要。	参加しやすい日程、プログラム内容について検討していく。
2	情報の提供や伝達方法について。	情報過多のため、保護者が把握しきれないと思われる。	書面での情報提供は引き続き行っていく。口頭でも伝達するなどして工夫をしていく。
3	保育所や幼稚園等との交流の機会が少ない。	児童の発達や特性を鑑みると、行事として交流することが必ずしも経験の積み重ねや拡がりに繋がるとは考えにくい部分がある。	事業所間での交流や行事などを継続して実施していく中で児童が安心して非日常的な活動に参加できるように丁寧に支援していく。